

令和6年3月定例記者会見要旨(令和6年3月28日)

1. GMOメイクショップ、坂出市、坂出商工会議所、KBNが連携して令和5年10月から令和6年1月にかけて王越地区で実施されたAIと対話で買い物支援を行う実証実験の結果と今後の展開予定をお聞きしたい。

「生成AIを活用した対話型コマースによる高齢者の買い物支援」の実証実験については、GMOメイクショップ株式会社、KBN株式会社、坂出商工会議所、坂出市の4者で令和5年10月に連携協定を締結し、令和5年11月から令和6年1月までの期間、本市王越地区において実施しました。なお、商品の販売については有限会社浪越食料品店、配達については有限会社大和タクシーが行いました。

実験には、王越地区の16世帯にご参加いただき、そのうち、11世帯が実際に買い物支援を利用されました。期間中の買い物回数は延べ48回で、購入総額は42,563円でした。また、1世帯当たりの購入回数の平均は4.36回、購入金額の平均は3,869円という利用状況でした。

実験後のアンケート回答においては、【生成AIの使い勝手】については、「会話もスムーズで使いやすかった」が16.7%、「会話がうまくいかないときもあったが、それなりに使えた」が50%と、概ね生成AIを使うことができたような状況でした。

【AIとの会話は楽しめましたか】という質問については、「楽しめた」が18.2%、「楽しめなかった」が54.5%と、会話については、改善が必要であることが分かりました。

また、【商品について】の質問では、「品数が少ない」というご意見が多くありましたが、【本サービス化を希望するか】といった質問では、「本サービス化して欲しい」という回答が70%と、改善点はあるものの、好評を得た結果となっております。

高齢化社会が進展する中、1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の増加に伴い、在宅生活を送る上で、支援を必要とする高齢者が増加することが予想されます。こうした高齢者のニーズに対応するため、公的支援に加え、自費による利用を含めた様々な主体によるサービスの充実化が必要となってまいります。

本市といたしましては、ボランティアや民間団体、企業等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスを発掘するとともに、元気な高齢者の社会参加の促進、さらには生活支援等のサービスの担い手にもなっていただけるような取り組みを推進していくことが重要だと考えておりますので、今回の実証実験は非常に意義深いものであります。

さらに、生成AIという最先端技術の活用は、地域のDX化の推進に大きな期待が持てるものとなりました。

また、本市は、実証実験の中で、認知機能に係る簡易なテストを16世帯のかたに実施し、認知症予防の普及啓発に取り組みました。さらに、宅配ボックスを参加者に配布し、温室効果ガス排出量の削減の普及啓発にも取り組みました。

最後に、今後の展開予定についてですが、買い物支援事業の実施主体については、KBN株式会社等の民間事業者になりますが、現在、6月を目途に坂出市と宇多津町全域を対象に

本サービスを開始する方向で聞いております。